

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	医薬品の限定出荷・出荷停止による薬物療法・臨床効果への影響に関する調査
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者(個人情報管理者)	薬剤部長 田中 守
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3月31日
対象	2021年2月から2024年1月に愛媛大学医学部附属病院(当院)で院外処方箋が発行された方のうち、保険薬局より医薬品の供給困難に関連する問い合わせのあった患者さん 2023年1月から2023年12月に当院を受診されデュラグルチド(トルリシティ [®])が処方された方のうち、医薬品の供給困難を主な理由としてトルリシティ [®] の処方が中止あるいは他剤変更となった患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、現病歴、薬歴、血液検査結果、尿検査結果、保険薬局からの問い合わせの記録、治療に関するカルテの記録
研究の概要	昨今、医薬品の供給不足が社会的な問題となっており、当院においても医薬品の供給困難を理由として、処方された薬剤が変更・中止となった例があります。今回は、医薬品の供給困難に関して保険薬局から問い合わせがあった際の内容について、診療録(カルテ)の情報より調査します。 また、供給困難となった医薬品の一例として、糖尿病治療薬であるトルリシティ [®] に着目し、供給困難を理由としてトルリシティ [®] が変更、中止となった患者さんの診療録(カルテ)を調査することで、医薬品の供給不足が薬物療法に及ぼす影響について評価します。
個人情報の取扱い	収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管

	<p>理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、保管される情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院薬剤部 坂本 裕哉 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5732</p>